



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 日本航空電子工業株式会社

上場取引所

東

コード番号 6807

URL <https://www.jae.com>

代表者（役職名） 社長

（氏名） 村木 正行

問合せ先責任者（役職名） 経理部長

（氏名） 小山 克之

（TEL） 03-3780-2752

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日

2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無

： 有

決算説明会開催の有無

： 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	110,441	△2.7	4,760	△48.4	4,736	△41.7	3,116	△53.0
2025年3月期中間期	113,451	0.1	9,218	36.1	8,119	△5.7	6,631	△1.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,983百万円（24.7%） 2025年3月期中間期 3,195百万円（△74.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	46.23	46.22
2025年3月期中間期	98.45	98.40

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	220,671	136,886	62.0
2025年3月期	215,444	133,696	62.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 136,736百万円 2025年3月期 133,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—	30.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	1.5	10,000	△36.0	9,000	△39.3	6,000	△48.2	89.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) JAE Tijuana, S.A. de C.V. 、除外 -社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	70,302,608株	2025年3月期	70,302,608株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,891,252株	2025年3月期	2,901,788株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	67,405,353株	2025年3月期中間期	67,363,283株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期(中間期)決算短信(添付資料)P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2025年10月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会(電話会議)を開催する予定です。なお、決算説明会で使用する説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 中間連結貸借対照表	P 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P 6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	P 8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P 9
(継続企業の前提に関する注記)	P 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 9
(連結の範囲の重要な変更)	P 9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P 9
(セグメント情報等)	P 10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の世界経済は、米国の関税政策や地政学リスクによって先行き不透明感が高まる中、米国経済は堅調を維持したものの、期後半には雇用環境の悪化により警戒感が広がりました。欧州では製造業を中心に需要低迷の影響が継続し、中国では個人消費の回復に力強さを欠くなど、景気は弱含む展開となりました。わが国経済も、物価上昇による消費マインドの下振れ、通商問題による企業業績への影響など、不透明感の高い状況となりました。こうした中、為替については期初に円高が進行した後、期後半にかけて再び円安基調で推移しました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、自動車市場において電動車の需要減や、通商問題による生産への影響が欧米で見られた他、携帯機器市場では買い替え需要の長期化に伴う厳しさが継続し、産機・インフラ市場も、一部FA向けなどで上向き動きも見られましたが本格的な回復には至りませんでした。一方、航空・宇宙市場では、防衛装備品の需要が引き続き堅調に推移しました。

このような状況のもと当社グループは、主力のコネクタ事業を中心に、グローバルマーケティングと新製品開発のスピードアップによる受注・売上の拡大を図るとともに、内製化の推進による工場稼働率改善、設備効率化によるコストダウン、諸費用抑制など経営全般にわたる効率化を推進し業績向上に努めました。しかしながら、売上高は一部新製品の量産遅れはありながら概ね計画に沿って推移したものの、利益面においては、金をはじめとする原材料価格高騰などの影響を受けたことに加えて、今後の成長を担う多くの製品を開発する時期にある中で、自動車、携帯機器向け新製品の立上げに伴う試作費用や仕損費が増加した影響などにより、想定を上回るコスト増を招きました。これにより、当中間連結会計期間の売上高は、1,104億41百万円（前年同期比97%）、営業利益47億60百万円（前年同期比52%）、経常利益47億36百万円（前年同期比58%）、親会社株主に帰属する中間純利益31億16百万円（前年同期比47%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、設備投資資金及び配当金の支払いなどによる現金及び預金の減少はありましたが、今後の成長に向けた新製品等の設備投資による有形固定資産の増加や棚卸資産の増加などから、前連結会計年度末に比べ52億26百万円増加の2,206億71百万円となりました。

負債は、借入金の返済があったものの、仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ20億36百万円増加の837億84百万円となりました。

純資産は、主として親会社株主に帰属する中間純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ31億90百万円増加の1,368億86百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益及び減価償却費の計上や仕入債務の増加などにより、115億86百万円のプラス（前年同期は189億41百万円のプラス）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として新製品生産用設備を中心とした有形固定資産取得による支出などから、116億26百万円のマイナス（前年同期は83億9百万円のマイナス）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び配当金の支払いにより、50億70百万円のマイナス（前年同期は212億93百万円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当中間期末残高は、前連結会計年度末に比べ48億51百万円減少の480億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績などを踏まえ、2025年4月23日に公表しました予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年10月30日)公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,874	48,023
受取手形及び売掛金	37,662	38,032
棚卸資産	29,176	32,200
その他	5,674	8,469
貸倒引当金	△108	△98
流動資産合計	125,279	126,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,118	26,565
機械装置及び運搬具(純額)	17,560	20,694
工具、器具及び備品(純額)	6,987	7,525
土地	6,763	7,025
建設仮勘定	12,861	11,020
有形固定資産合計	70,291	72,831
無形固定資産	2,656	2,722
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,906	2,191
その他	15,439	16,427
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	17,216	18,488
固定資産合計	90,165	94,042
資産合計	215,444	220,671

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,370	31,978
短期借入金	6,000	6,000
未払法人税等	1,402	1,254
取締役賞与引当金	96	33
その他	13,052	14,001
流動負債合計	48,921	53,268
固定負債		
長期借入金	31,000	28,000
退職給付に係る負債	62	172
その他	1,764	2,343
固定負債合計	32,826	30,516
負債合計	81,748	83,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,690	10,690
資本剰余金	14,431	14,431
利益剰余金	96,960	99,246
自己株式	△7,321	△7,295
株主資本合計	114,760	117,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,062
為替換算調整勘定	13,394	14,054
退職給付に係る調整累計額	3,807	3,547
その他の包括利益累計額合計	18,796	19,664
新株予約権	139	149
純資産合計	133,696	136,886
負債純資産合計	215,444	220,671

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	113,451	110,441
売上原価	90,961	92,352
売上総利益	22,490	18,088
販売費及び一般管理費	13,272	13,328
営業利益	9,218	4,760
営業外収益		
受取利息	148	251
受取配当金	504	327
為替差益	-	16
その他	192	104
営業外収益合計	844	699
営業外費用		
支払利息	337	339
固定資産除却損	188	286
為替差損	1,335	-
その他	82	97
営業外費用合計	1,943	723
経常利益	8,119	4,736
特別利益		
固定資産売却益	344	-
特別利益合計	344	-
税金等調整前中間純利益	8,464	4,736
法人税、住民税及び事業税	1,918	1,761
法人税等調整額	△85	△141
法人税等合計	1,832	1,619
中間純利益	6,631	3,116
親会社株主に帰属する中間純利益	6,631	3,116

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,631	3,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△467	467
為替換算調整勘定	△2,816	660
退職給付に係る調整額	△151	△259
その他の包括利益合計	△3,435	867
中間包括利益	3,195	3,983
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,195	3,983
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,464	4,736
減価償却費	10,256	9,677
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	100
受取利息及び受取配当金	△652	△578
支払利息	337	339
為替差損益 (△は益)	712	67
固定資産除却損	188	286
固定資産売却益	△344	-
売上債権の増減額 (△は増加)	333	△176
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△551	△2,863
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,115	4,399
その他	492	△2,603
小計	20,321	13,384
利息及び配当金の受取額	652	563
利息の支払額	△337	△337
法人税等の支払額	△1,753	△2,059
法人税等の還付額	58	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,941	11,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,157	△10,655
有形固定資産の売却による収入	372	10
投資有価証券の取得による支出	△200	△112
その他	△324	△869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,309	△11,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	-
長期借入金の返済による支出	△17,250	△3,000
配当金の支払額	△2,020	△2,022
その他	△22	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,293	△5,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,763	247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,425	△4,863
現金及び現金同等物の期首残高	68,298	52,874
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	12
現金及び現金同等物の中間期末残高	55,873	48,023

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度において非連結子会社であったJAE Tijuana, S.A. de C.V.は、重要性が増したため、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率により計算した税金費用が著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率により計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	36,434	—	—	—	36,434	—	36,434
自動車	53,702	2,743	121	—	56,567	—	56,567
産機・インフラ	6,926	1,940	5,648	—	14,515	—	14,515
航空・宇宙	—	—	4,073	—	4,073	—	4,073
その他	1,614	—	—	246	1,861	—	1,861
顧客との契約から 生じる収益	98,677	4,683	9,843	246	113,451	—	113,451
計	98,677	4,683	9,843	246	113,451	—	113,451
セグメント利益 (注)1	10,183	163	1,405	31	11,783	△2,565	9,218

(注) 1 セグメント損益は、中間連結損益計算書上の営業損益ですが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,565百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注)2	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	コネクタ 事業	インターフェース・ ソリューション事業	航機事業				
売上高							
携帯機器	33,526	—	—	—	33,526	—	33,526
自動車	53,320	2,498	54	—	55,873	—	55,873
産機・インフラ	8,033	1,379	4,314	—	13,727	—	13,727
航空・宇宙	—	—	4,586	—	4,586	—	4,586
その他	2,491	—	—	235	2,726	—	2,726
顧客との契約から 生じる収益	97,371	3,877	8,955	235	110,441	—	110,441
計	97,371	3,877	8,955	235	110,441	—	110,441
セグメント利益 (注)1	6,502	△15	787	65	7,339	△2,579	4,760

(注) 1 セグメント損益は、中間連結損益計算書上の営業損益ですが、各報告セグメントへの配分が困難な本社スタッフ費用等の一般管理費2,579百万円については調整額としております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の物品の販売並びにサービス事業を含んでおります。